



【先週 4月8日～4月14日の外食の出来事】

■単独税引き利益 7年連続最高 ハイデイ日高の前期

ハイデイ日高の2012年2月期の単独決算は、税引き利益が前期比3%増の16億円だった。7年連続で過去最高益を更新した。売上高は10%増の274億円。生ビールの販売価格を下げたことなどから客足が伸びた。

■ホテルニューオータニで食中毒 18人からノロウイルス

東京都は13日、ホテルニューオータニの2つの宴会場で食事をした59人が吐き気や下痢など食中毒症状を訴え、うち18人からノロウイルスを検出したと発表。千代田区はホテルの調理場2ヶ所を6日間営業停止の処分をした。

■＜食中毒＞仕出しのすしなど食べた304人に症状 名古屋

名古屋市食品衛生課は12日、仕出し弁当製造会社「万代(まんだい)」が調理したすしなどを食べた304人が食中毒症状を訴えたと発表した。市は集団食中毒と断定し、同社を当面、営業禁止処分とした。

■日本マクドナルド 3月既存店売上高 6%増

マクドナルドの3月の既存店売上高は前年同月比6.0%増と、2カ月ぶりに前年実績を上回った。全店の約8%にあたる260店程度が東日本大震災のため営業を休止したことの反動が出た。

■リンガーハット4億円赤字 前期最終 既存店売上高が減少

リンガーハットの2012年2月期の連結決算は最終損益が4億円の赤字になった。東日本大震災の影響で客足が減少して既存店売上高が減った。売上高は2%増の346億円だった。営業利益は17%減の13億円。

■一六堂の前期 純利益45%増

一六堂の2012年2月期の連結決算は、純利益が前期比45%増の3億9千万円だった。東日本大震災以降落ち込んでいた客足が昨秋から回復。売上高は11%増の98億円。営業利益は78%増の7億6千万円。

■サイゼリヤ 純利益1%減 9月～2月 22億円

サイゼリヤ2011年9月～12年2月期の連結決算は純利益が前年同期比1%減の22億円だった。ファミリーレストラン同業との競争が激しく、既存店売上高が減った。売上高は4%増の492億円。

■ジェイプロ 2月決算、営業利益5倍に。「芋蔵」郊外ターミナル成功。

株式会社ジェイプロジェクトが2012年2月期連結決算を発表。売上高95.14億円、0.3%増。営業利益2.19億円、442.8%増。郊外ターミナル駅への初出店となった「芋蔵」蒲田西口店が好調で、新立地を発見することが出来た。

■大庄 9～2月、黒字化。前期の不採算95店舗閉鎖で効果。

株式会社大庄が2011年9月～12年2月の6ヶ月連結業績を発表。売上高391.14億円、3.6%減。前期に不採算95店舗の閉鎖を行ったため、既存店売上高は4.8%増と改善。